

マイクロプラスチック調査実施結果

【沙弥島海岸調査】日時：2022年1月8日（土）9:30～12:00 参加者数：19名

1月8日（土曜日）19名の県民が参加して、坂出市沙弥島海岸でマイクロプラスチックの調査を行いました。この事業では、全3回の参加型調査を行っており、沙弥島海岸以外に、東かがわ市山田海岸、丸亀市本島泊海岸で行います。

昨今、世界的な問題となっているマイクロプラスチックに目を向けて、どのような種類のマイクロプラスチックがどのくらいの量、海岸に漂着をしているのかを調べました。

調査は、海岸を歩いてまわり、漂着ごみやマイクロプラスチックの状況を確認した後、マイクロプラスチックの多い場所でサンプルの採取を行いました。風に飛ばされて海岸の上部に溜まりやすい場所があったので、そこから採取しました。採取は、定量の砂を取り、水を張ったバケツの中に入れて浮いてきたものを網ですくい取りました。砂を水の中に入れると、参加者は予想していた以上にマイクロプラスチックが次から次へと浮き上がってくるのに驚いていました。

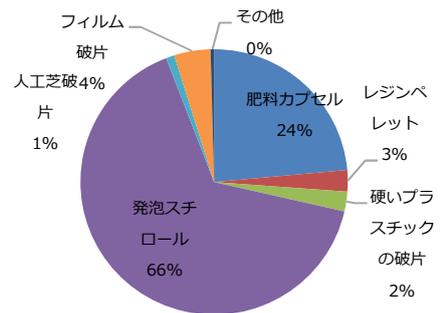
このサンプルを調べるためには、乾燥させる時間を必要とするため、事前に乾燥させたサンプルを使って参加者と一緒にマイクロプラスチックの分類と個数を調べました。

調査の後には、マイクロプラスチックについて詳しい話やマイクロプラスチックが引き起こす問題について講師から話がありました。

参加者からは「小さくなる前に拾うことが大切と思った」「海までごみが流れてくると小さな破片になりやすいことが分かった」などの感想がありました。



調査場所



沙弥島海岸のマイクロプラスチック割合

沙弥島のマイクロプラスチック 2mm～5mm 以下のプラスチック(採取日：2022.1.8 個数確認日：2022.1.9)

項目	肥料カプセル	レジンベレット	硬いプラスチックの破片	発泡スチロールの破片	人工芝破片	フィルム破片	その他
個数	117個	13個	12個	326個	5個	22個	2個



調査場所でマイクロプラスチック探し



サンプル採取の様子



サンプル採取の様子



マイクロプラスチックの分類、個数調査



マイクロプラスチックの問題について



集合写真